

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2018/7/2
所属学部	融合理工学府
所属学科・専攻	先進理化学専攻物質科学コース

1. 留学先について

留学先大学名	リンショーピン大学							
留学先所属学部等	Laboratory of Organic Electronics, Department of Science and Technology							
留学期間	出発日	2018/8/23	入学日	2018/8/28	修了日	2018/4/23	帰国日	2018/4/24
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	その他()					
	通学時間	15分				On campus		
	通学方法	徒歩						
	居室スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 個室	() 人部屋	その他()				
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室	<input checked="" type="checkbox"/> キッチン	<input checked="" type="checkbox"/> トイレ	<input checked="" type="checkbox"/> バス	<input checked="" type="checkbox"/> リビング	その他()	
食事	自炊	80 %	学食	0 %	外食	20 %	その他	() %
保険	海外旅行保険(名称)	ジェイアイ傷害火災保険						
	派遣先大学指定の保険(名称)							<input type="checkbox"/> 強制加入
	その他							
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)							
	羽田 ⇄ リンショーピン(飛行機) ⇄							

2. 留学にかかった費用について

総費用	130 円							
出どころ								
自費	貯金	10万 円	アルバイト	0 円	その他	円		
援助	両親	50 円	家族・親戚	0 円	その他	円		
奨学金	JASSO	70 万 円	その他名称()	円				
その他	千葉大学助成金	円	その他()	円				

2-1. 財政管理の方法

渡航時	現金	15万円	その他()	円
留学中	海外送金	キャッシング	✓ その他()	円

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	キャッシング
住居にかかった費用	キャッシング
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			300,000	円
海外旅行保険			140,000	円
OSSMA			20,000	円
査証・在留許可証	kr	0	0	円
住居	kr	27,000	400,000	円
食費	kr	12,600	180,000	円
通学に要する交通費	kr	0	0	円
教科書、教材費	kr	700	10,000	円
その他大学に支払った経費	kr	0	0	円
光熱費	kr	0	0	円
その他 (衣服)	kr	350	50,000	円
その他 (旅費)	kr	1,050	150,000	円
その他 (家具・家電)	kr	350	50,000	円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無		
			有	✓	無
1 TGZD20 - Project Work	正規	30	有	✓	無
2 THSV08 Beginners Course in Swedish, level1	正規	7.5	有	✓	無
3			有		無
4			有		無
5			有		無
6			有		無
7			有		無
8			有		無
9			有		無
10			有		無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

千葉大学と同様にネットで登録した。大学専用のアプリが存在し適宜そこで授業場所や履修登録、単位の習得情報を確認した。

3-2. 授業内容、方法に関して

スウェーデン語の授業では様々な国の留学生と一緒に英語で授業を受けた。特に発表する頻度や口に出す頻度が多く、最期には期末テストのようなものもある。授業中には休憩時間がありコーヒーを飲める。

3-3. 語学力について

英語はもちろんスウェーデン語も日常会話程度なら軽く話せるようになった。この大学には日本や韓国などの文化が好きな東アジアサークルがあり、そのスウェーデン人の友人としてしくなりやすい。日頃から遊び英語とスウェーデン語を使うことができる。

3-4. 図書館など学内施設について

図書館では千葉大学と同様に多くの学生が勉強をしている。テスト前は混雑する。校内にはコンビニがあり便利だがやはり高い。留学生会館には日本食やレストランがあるらしいが、美味しくないらしい。研究設備はとても整っている。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

基本的には大学の契約しているcorridorと呼ばれる施設。多くはシェアルームで1部屋2人で住む。キッチンやリビングは他の住人と共用。1人部屋も希望できるが倍率が高い。

4-2. 食生活について

ほとんど自炊。住居の近くにスーパーがあり食材を手に入れるのは容易。ただ調味料は少ない。お米も日本米は無く近しいかたちの物を選んだ。ハムやチーズを計り売りしておりお得。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

スウェーデンに行ってSIMを入れました。初日に留学生会館に行って担当の先生と会うとSIMを無料でくれました。Lycamobileという欧州で結構有名なSIMでweb上でデータ量やプランに入金して使うシステムで安価に他のヨーロッパ内の国で使えたのでよかったです。

4-4. 服装について

基本的に半袖は必要ないかと思います。冬が最低で-10度まで行ったのですが、あちらでコートを買って十分でした。ニット帽は必須。

4-5. 健康管理について

特に風邪をひくことはなかったです。室内はどこも暖かいのでたまに換気が必要です。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

一度も使うことはなかった。毎月くるOSSUMAの安否確認だけ行なった。

4-7. 課外活動について

研究室の課外活動でポーランドに行き現地の大学とディスカッションを行なった。学生団体などがノルウェーにフィヨルドを見に行くツアーなどをしていました。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

研究室の友人の友人などと一緒に飲んだり遊んだりしました。特にホームパーティーなどが多くて楽しく、家も街が小さいので行きやすかったです。

4-9. 日本から持参してよかったもの

カップラーメン

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

お茶。水道水が飲める国でとても美味しかったんでお茶を飲む機会はなかったです。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

結構時間にはルーズです。意外だったのは、日本人と似たようにみんなで食べているお菓子など最後の1つとかになるとみんな譲ります。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

[ポーランド・ワルシャワ(課外活動)]2017年10月(3日間)、0円
[フランス・パリ,リール&ベルギー・ブリュッセル(観光)]2017年11月(4日間)、約4万円

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

気分転換にはよく飲んでいました。友人の家でも飲んだり、近くのバーで飲んだりしました。他には意外と卓球が人気スポーツで友人宅の卓球台で遊んだり研究室の卓球で大会をしたりしました。

5. その他

5-1. 留学先大学について

キャンパスがLinköpingとNorrköpingの2つあります。基本的にはLinköpingのキャンパスを使います。この2つのキャンパスには無料シャトルバスが走っており40分程度で到着します。

Norrköpingキャンパスは研究機関が多いですが、キャンパスの隣を多様な川が流れておりとても綺麗なキャンパスとなっています。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

スウェーデンは英語が母国語ではないですが、喋れる国ランキング1位でスーパーやどこに行ってもみんな喋れるので安心です。

且つ、母国語でない為に喋るスピードも聞き取りやすく、英語がそこまで得意でない自分にはいいステップアップとなりました。

また、色々な国籍の人とても多いので多様性でとても面白い環境となっています。

学ぼうと思えばスウェーデン語も学べて、色々な人の文化や考えを学べるので濃縮したいい留学になると思います。

5-3. 留学を終えて

留学を終えて、自分は色々な部分で成長しました。

一つは語学力。自分は留学前まで英語力に自信がありませんでした。しかし海外のことには興味があり、いつか英語を使えるようになりたいと思っていました。そこで留学を通じ、英語をつかわないと生きていけないような環境下で過ごすことで英語をコミュニケーションツールとして活用できるようになりました。特にスピーキングの方は話す障壁があったのですが、それもなくなり最も成長出来た部分だと思います。

二つ目は対人関係です。自分はあまり初対面の人に話に行くことが得意では無く、尚更文化も違い知人が一人もないような環境では当初戸惑いました。しかし、頑張っ話しかけるようにしていると、自然と相手も話を聞いてくれることがわかり、また海外の人はニコニコと笑顔で話を聞いてくれるので助かりました。

三つは理系的視野の広さです。研究室に所属したので、ほぼ毎日実験とディスカッションを重ねることができました。日本人以外の人と研究を行ったので、考え方や見方・アプローチの仕方が違うことに気付き、新たな方向性から考えることができたので、これはとても自分の理系者としての成長に繋がりました。

他にもストレス耐性や柔軟性、色々なことを知って知識も大幅に向上したと思います。

今後はこれらの経験を武器として日本での研究活動、また社会に出てから役立てて行きたいと思います。